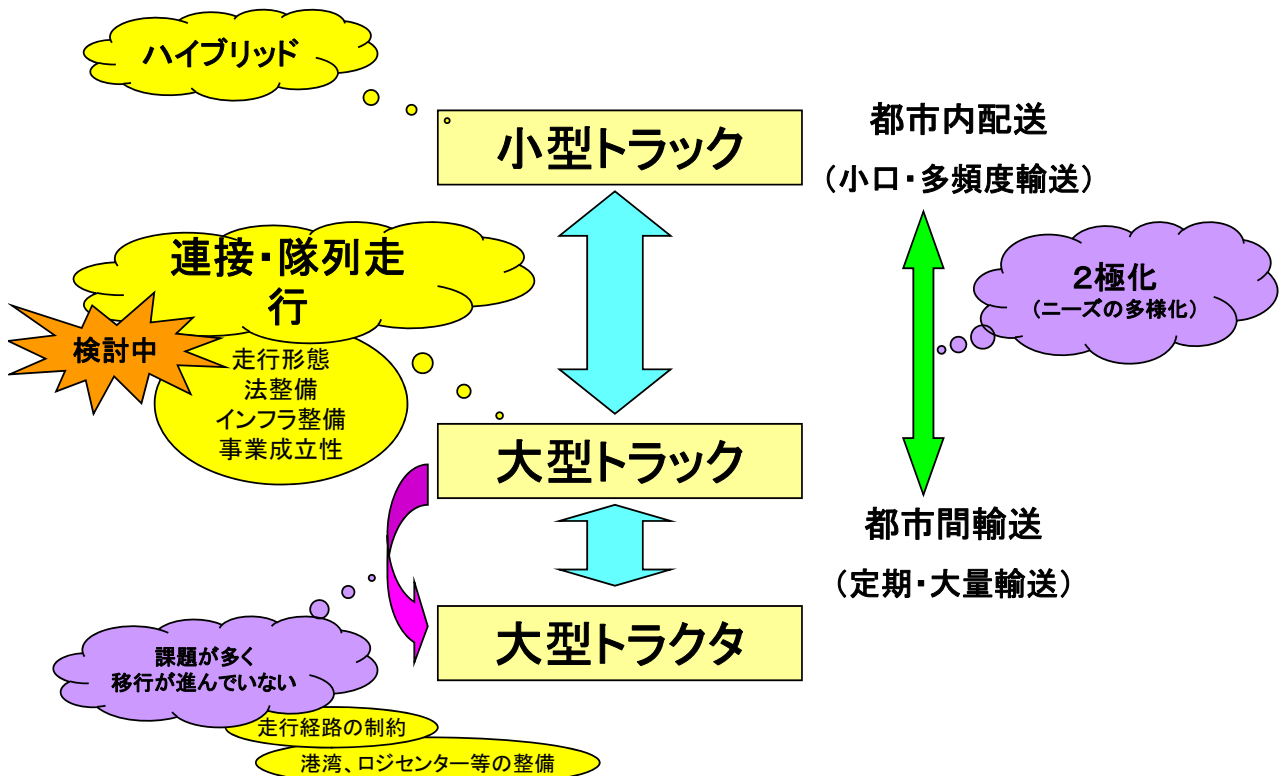


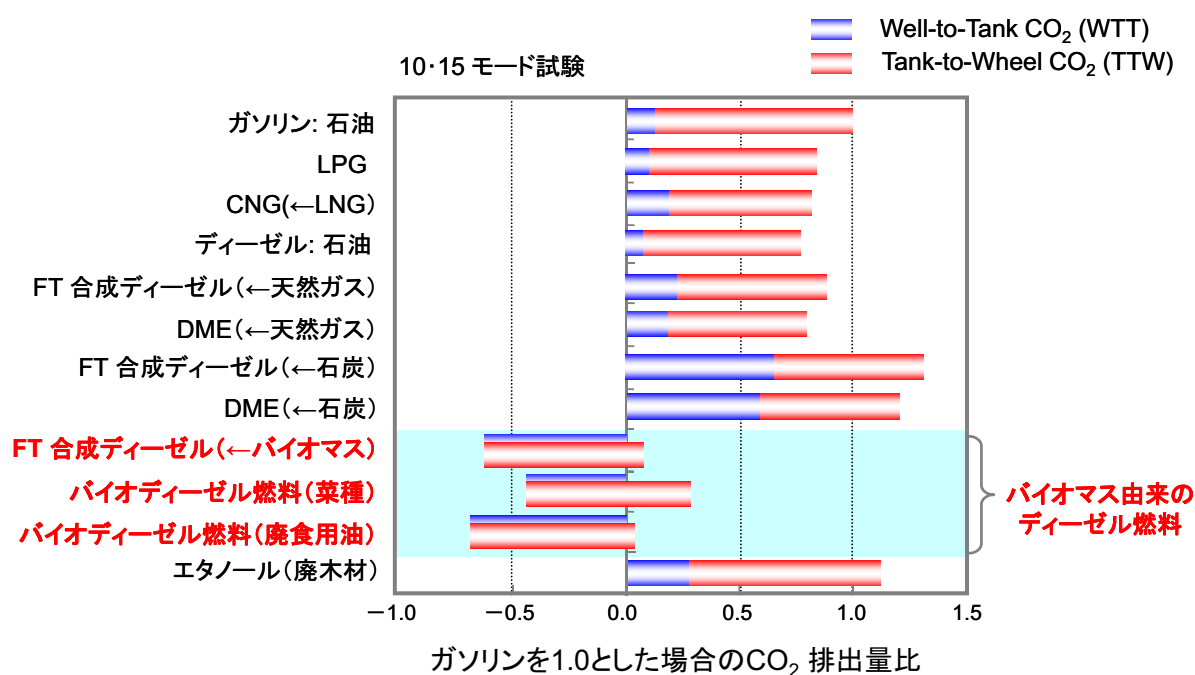
‘07年10~3月の間、日野(ハイブリッドバス)2台を用いてBHD10%混合軽油にてデモ走行を実施。

高効率輸送



1. 社会情勢
2. CO₂削減の努力
 - ・車両と物流の改善
- 3. 車両用燃料と動力源の方向性**
4. 今後の展開と将来のイメージ
5. 提 案

燃料とWell-to-Wheel (WTW) CO₂排出量の比較



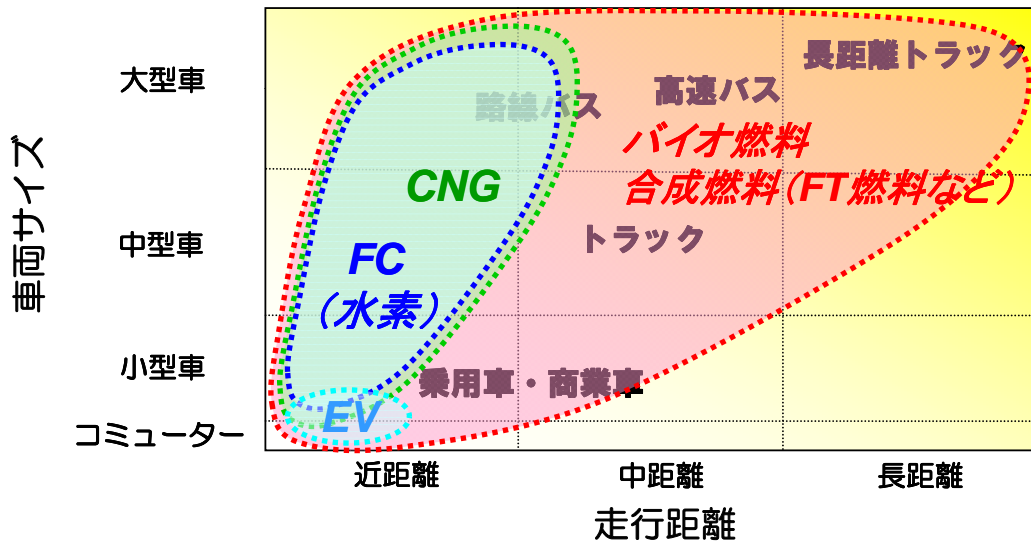
出展:トヨタ自動車株式会社、みずほ情報総研株式会社報告資料

■バイオマス由来のディーゼル燃料はCO₂ 排出量が非常に少ない。

代替エネルギー（燃料）の選択



- CO2削減のため、長期的には水素、電気エネルギーに向う。
- 気体燃料や電気を使用した車（CNG、FC、EV）は、当面用途が限定される。
- 水素燃料は、使用時にCO2が排出されない点で非常に優れているが、水素燃料の実用化にはまだしばらく時間を要する。
- 長距離を走行する大型車に使用できるのは、バイオ燃料、合成燃料のみ。



ディーゼル・電気ハイブリッドの進展



- 中長距離走行車は低燃費クリーンディーゼル
- 都市内・郊外の一般道走行車はディーゼル・電気ハイブリッド
- ハイブリッドはコスト・性能改良により採用範囲の拡大が進む。

